

(様式1)

校 種	① ・ 中 どちらかに○	学校番号	4 9	学校名	宇都宮市立雀宮南小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	-------------

令和4年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

「人間尊重の教育」を基盤として、地域の特性や児童の実態を踏まえ、社会の変化に主体的に対応できる知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましい南の子の育成に努める。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など） 南の子 なかよく かしこく たくましく

○なかよく……なかよく助け合い きまりを守る子(思いやり・規範意識・人権意識)

○かしこく……進んで学びよく考え自分の言葉で表現できる子(自主性・創意・コミュニケーション力)

○たくましく……明るく元気に粘り強くやり遂げる子(明朗・勤労・耐性・自己肯定感)

2 学校経営の理念

小学校は、子供の夢を育んでいく場所であり、多様な経験を通して学んでいく場所である。個の成長を認めることを基本とし、教育活動の充実・改善を通して、一人一人が自分の成長を実感し自己肯定感をもてる学校づくりを進めていく。そのためには、教職員が互いに教師力を磨き合い、それぞれの専門性や個性を発揮しながら、明るく笑顔で教育活動を推進していくとともに、地域・保護者・児童・教職員が心一つにして、「笑顔いっぱい あいさついっぱい やる気あふれる南小」を目指して努力していく。

3 学校経営の方針

第2次宇都宮市学校教育推進計画及び第2次宇都宮市学校教育スタンダード、令和4年度指導の重点を踏まえ、児童・教員・保護者・地域が協力しながらそれぞれの役割を果たす学校経営に努める。

- (1) 児童一人一人が自分のよさを発揮し、学校生活への充実感や自己肯定感、**自己の成長**を感じることのできる学校づくりに努める。
- (2) 基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み、主体的に学習に取り組む態度を育てることに努める。
- (3) 教育活動全体を通して、計画的・系統的に人権を尊重する心、人を思いやる心、規範意識などを育むとともに、折れない心や、やり抜く心など心のたくましさの涵養に努める。
- (4) 生涯にわたって自他の生命を尊重し健康で安全な生活を送れるよう、自ら進んで体力づくりをしようとする態度や健康を管理する能力、望ましい生活習慣、危険を予測し回避する行動を身に付ける力の育成に努める。
- (5) 情報化の急激な時代の変化に向き合い生き抜くための資質・能力を身に付けることができるように情報活用能力の育成に努める。
- (6) 教職員が同僚性と協働性、職種の利点を発揮したチーム力の向上を通して、組織的、計画的な教育活動の推進に努める。
- (7) 教育者としての使命感を自覚し、研究・研修、日常の相互研鑽等を通して、人権意識の高揚と指導力の向上に努める。
- (8) 教職員一人一人のモチベーションやメンタルヘルスを保持しながら、最大限の力を発揮できるように業務の改善と勤務時間を意識した働き方改革を推進する。
- (9) 地域と連携・協働した学校づくりを推進する。
- (10) 地域学校園の連携を図り、児童生徒・教職員の特徴・よさを生かした教育活動を推進する。

[雀宮地域学校園教育ビジョン] 一人一人が自らの良さを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成
～いきいきとした活動を通して～

4 教育課程編成の方針

- (1) 学校教育目標の具現化を図るため、学校経営方針や学校評価・学校課題・児童の姿や地域の現状などを踏まえ、また、前年度の教育課程実施の反省や地域・保護者からの意見等を十分に考慮し、社会に開かれた教育課程を目指して編成する。
- (2) 児童が明るく楽しく生き生きと取り組める特色ある学校づくりを目指し、異学年間交流活動や児童による主体的活動の推進と、地域外部人材を活用した意図的・計画的な実践化を図れる教育課程の編成に努める。
- (3) 言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力やSDG sに係る現代的な諸課題や災害等を乗り越えて次代の社会を形成することに向けた諸課題に対応して求められる資質・能力を教科等横断的な視点で育成していく教育課程の編成に努める。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営
 - 児童一人一人がよさを発揮し、学校生活への充実感や自己肯定感を感じる教育活動の展開
 - ・児童が、自己の成長を実感できる教育活動の展開
 - 認め励ます教育の一層の推進
 - ・道徳教育・人権教育の充実を通じた、豊かな人間性と他者を思いやる力の育成と折れない心ややり抜く心などのたくましさの涵養
 - ・地域と目標を共有し、地域の教育力を生かした特色ある教育活動の展開
 - ・業務を効率化し、質の高い教育活動を展開するための環境の整備と教職員の意識改革
 - ・コロナ禍における感染防止対策の徹底と情報発信による保護者・地域の理解の促進
- (2) 学習指導
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
 - 「宇都宮モデル」の「はっきり」「じっくり」「すっきり」を踏まえた授業改善
 - 児童が学習の見通しを立てたり、学習内容を振り返って次につなげたりする学習活動の展開
 - 児童自らが学習課題や学習活動を選択する展開の工夫
 - 児童が、自分の考えをもち表現、議論する中で、学びを深めていく授業展開の工夫
 - 各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせる発問や学習活動の工夫
 - 獲得した知識を関連付け深く理解したり、生活や他教科で活用したりする学習活動の展開
 - 基礎学力の向上に向けた取組の充実
 - IT等を取り入れた朝の学習の充実
 - 単元や学期ごとに復習するまとめ学習の充実
 - 学習したことを振り返って復習したりする家庭学習の習慣化
 - AIドリル等の活用による計画的な家庭学習
 - ・ICTを効果的に活用した授業展開の工夫（1人1台端末、デジタル教科書等の活用）
 - ・言語能力、情報活用能力やSDG sに係る現代的な諸課題に対応する力を育てる問題解決的学習や教科等横断的指導の充実
 - ・安心して考えを伝え合い、互いに高め合える学級集団づくり
 - ・学校行事や特別活動などで自分の変容や成長を実感できる学習活動の工夫（キャリア教育の充実）
 - ・図書、ICTの活用能力を向上させる指導の充実
 - ・家庭での読書習慣の形成
- (3) 児童生徒指導
 - ルールやマナーがあるよさを実感し、進んで守ろうとする態度の育成
 - 相手の気持ちを考えて行動する実践力（あいさつ・場に応じた言葉遣い等）の育成
 - ・いじめ・不登校を生まない指導と居がいのある学級づくり
 - ・家庭での生活を振り返り、よい生活習慣を身に付けようとする態度と情報モラルの育成

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- 健康に関する知識を正しく理解し、健康で安全な生活を営む力を育むとともに、進んで運動に取り組む児童の育成
- **自分で決めた目標に継続的に粘り強く取り組むことができる児童の育成**
 - ・危険を予測し、自らの命を守るための行動力の育成
 - ・自らの食生活を振り返り、望ましい食習慣の形成に向けて自ら改めようとする態度の育成

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

児童 一人一人が自分のよさを自覚し、ともにいきいきと学び合う資質・能力の育成

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

なかよし活動（心の教育の充実）

異学年交流活動を多くの教育活動に取り入れ、仲よく助け合う心、自主性や社会性を育てる。

- ◇① **適切なあいさつや言葉遣いの定着**を図るための多様な教育活動の展開
 - ・地域・保護者・地域学校園・異学年で取り組むあいさつ運動の展開
 - ・場に応じた言葉遣いについて学校生活の場面での意図的な指導及びSSTなどの実践
- ◇② **いきいき縦割り班活動及び異学年交流の充実**
 - ・いきいきタイムの縦割り班活動、全校ウォークラリー等の目的の明確化と活動後の振り返り
 - ・縦割り班清掃で責任感、リーダー性を育てる工夫
- ◇③ 児童が主体的に学校・地域・社会に貢献する奉仕活動、学校行事等の活動の工夫

わくわく学習活動（学習指導の充実）

様々な人との関わりを重視した学習活動の中で、基礎・基本を身に付け、生活に生かす力を育てる。

- ① 教科の特性・よさを生かした「楽しく、分かる授業」の展開
 - ・分かりやすい板書の工夫とノート指導の充実
 - ・**学びを深める話し合い活動を充実させる学習形態の工夫**
 - ・少人数・習熟度別学習による基礎・基本の定着と思考力・表現力・判断力の育成
- ② 表現力を向上させるための伝え合う教育環境整備
 - ・**学習・行事等の振り返り、短作文指導を通じた自分の思いや考えを書く力の育成**
 - ・生活経験や既習内容等から根拠を明確にして自分の考えを発表する力の育成
- ◇③ 自然や地域社会、企業、多様な他者等と触れ合う体験的な活動の充実

がんばり活動（体力増強・健康安全教育の充実）

健康で安全な生活を営み、進んで運動に取り組む態度を育てる。

- ◇ ・教科体育の充実（運動量の確保、サーキットトレーニング等）
 - ・目標を決めて主体的に粘り強く運動に取り組む態度の育成
 - ・（授業・各種検定カードの工夫・持久走大会）
 - ・体力づくり、仲間づくりを目指した外遊び、クラス遊びの奨励

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

① 基本的考え

- ・地域の一員であるという自覚を培い、地域に感謝し、地域に貢献しようとする態度を育成するため、感謝の会を充実させるとともに地域の行事への積極的な参加を促す。

- ・地域協議会との連携を図り、地域人材・外部人材等を活用した体験活動を充実させる。

②主な取組

- ・感謝の会を通して、地域のボランティアへの感謝の心を育てる。
- ・地域・PTA・育成会・おやじの会等の行事やボランティアへの積極的な参加を促す。
- ・菜園ボランティア・読み聞かせボランティア等を活用した体験活動を充実させる。
- ・PTA・地域と連携したオープンスクールを実施する。(ふれあいまつり)

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

- ・9年間の見通しをもった学習指導・児童生徒指導を共通理解し実践する。

②主な取組

- ・中学校の教員が小学校を訪れ、交流授業や中学校の話をすることや6年生の中学校訪問を通して、中学校進学に対する児童の不安軽減を図る。
- ・中学生との合同のあいさつ運動により、先輩への尊敬の念を育てるとともに、地域でのあいさつの定着を目指す。
- ・統一献立や「お弁当の日」を実施し、家庭での食に関する話題づくりのきっかけとする。
- ・地域学校園の各学校のおすすめの本を紹介し、読書の幅を広げるとともに質の向上を目指す。

(3) 不登校対策

①基本的考え

- ・予防的には自己肯定感をもてる学級経営、分かる授業の展開を推進し、個別事例には必ずチームで組織的に対応していく。

②主な取組

- ・居がいのある、温かい雰囲気 of 学級経営を行うとともに、分かる授業を展開する。
- ・教育相談週間やQ-Uなどを活用し児童の心の状態の把握に努める。
- ・ケース会議をこまめに開くなど担任が一人で抱え込まないような組織的対応を推進する。

(4) GIGAスクール構想

①基本的考え

- ・宇都宮市における「GIGAスクール構想」のSTEP1の初年度として目標の「すべての児童、教職員が1人1台端末を文具の一つとして、授業の内外で日常的に活用できるようにする。」の実現のため、校内外での研修や授業の内外での実践事例を校内で共有し、全教員のICT活用能力の向上を図る。

②主な取組

- ・発達段階に合わせて、音声入力・手書き入力・かな入力・ローマ字入力などを習得させる。
- ・国語の意味調べ、社会・理科・総合的な学習の時間などでの調べ学習で辞書・図鑑代わりに検索サイトを活用する。
- ・実感を伴った理解を図るため、教科書などのQRコードからデジタルコンテンツなどの動画資料を活用する。
- ・ワープロ、表計算、プレゼンソフトなどの共同編集機能を協働的な学びのツールとして活用する。
- ・AI型ドリル教材を授業でのつまずきの解消、家庭での自主学習で活用する。
- ・実践事例の紹介・共有、授業研究会などの効果的な校内研修を工夫する。

(5) 宇都宮学

①基本的な考え

- ・子供たちが、郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りをもてるよう指導の充実を図る。

②主な取組

- ・発達段階を踏まえた体系的な学習を実施する。
- ・各教科における地域教材・郷土資料の積極的な活用する。
- ・教科・領域において「宇都宮のよさ」を意識した教育活動を推進する。

